

平成25年4月25日

南海電気鉄道株式会社

～鉄道会社で初！～

「なんかいの森」で

オフセット・クレジット認証を取得しました！

クレジット活用の第一弾として、「第60回南海コンサート」のCO₂をゼロに♪

南海電鉄（社長：亙 信二／本社：大阪市浪速区）では、「環境重視企業」を目指すことをグループ経営方針として定め、事業活動を通じて常に環境への影響に配慮し、自然環境にやさしい社会づくりに向けて行動しています。

そしてこのたび、『南海電鉄による護摩壇山「なんかいの森」森林管理プロジェクト』の取組みにおいて、間伐や枝打ちの実施による木々の育成に伴い吸収されたCO₂を対象として、今年3月12日、環境省の「オフセット・クレジット（J-V E R）制度」のクレジット認証を取得しました。同認証を取得するのは鉄道会社では初めてです。

なお、このオフセット・クレジットにつきましては、沿線地域での特定の社会的・文化的活動や、自然環境保護活動、お客さまにご利用いただく商品・サービスなどに起因して発生するCO₂のオフセットに活用することで、地球環境にやさしい取組みを広げてまいります。

今回はクレジット活用の第一弾として、7月14日（日）に開催される「第60回南海コンサート」において発生するCO₂を同クレジットでオフセットします。

詳細は次ページのとおりです。



大阪フィルハーモニー交響楽団



なんかいの森での施業

1. 「オフセット・クレジット（J-VER）」制度について

J-VER制度とは、国内で実施された森林整備やバイオマス活用などのプロジェクトによる温室効果ガス排出削減・吸収量を、カーボン・オフセットに用いられる一定の信頼性が確保されたクレジットとして認証する仕組みであり、地球温暖化対策推進のため環境省が創設した制度です。

2. オフセット・クレジット（J-VER）の取得について

- (1) 認証年月日 平成25年3月12日
- (2) クレジット認証量 1,928t-CO₂
- (3) 認証主体
環境省 オフセット・クレジット（J-VER）制度認証委員会
- (4) プロジェクトの概要
 - ①プロジェクト名
南海電鉄による護摩壇山「なんかいの森」森林管理プロジェクト
 - ②内容
本プロジェクトは、当社が所有する森林のうち、平成19年～平成24年に間伐を実施した森林111.23haを対象としています。本間伐により、木々の成長が促進されますが、その成長に伴い吸収されたCO₂をクレジットとして認証を受けたものです。
 - ③クレジット対象期間
平成20年4月1日～平成24年3月31日

《参 考》

J-VER 制度で登録されたプロジェクトについては、平成25年度より国内クレジット制度と統合された「J-クレジット制度」として継続されることになっています。

3. オフセット・クレジット（J-VER）の活用について

(1) 「第60回南海コンサート」での活用

コンサートで排出されるCO₂をオフセット（実質ゼロに）します。

①60回南海コンサート

日時：平成25年7月14日（日）14時30分開演（14時開場）

会場：たかいし市民文化会館アプラホール大ホール

指揮：大植 英次

独奏：篠崎 孝

管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

入場料：一般3,000円（会員割引2,700円）／ペア5,000円

主催：公益社団法人大阪フィルハーモニー協会

たかいし市民文化会館アプラホール

後援：高石市教育委員会

協賛：南海電気鉄道株式会社

②CO₂のオフセットの概要

会場の照明・空調利用や、お客さま・楽団員などの交通機関の利用など、本コンサート開催のために発生するCO₂を算定し、クレジットと相殺することによって、実質ゼロにします。

(2) 今後の活用方針

① イベントなどで発生するCO₂のオフセット

沿線地域における特定の自然環境保護活動やお客さまに利用いただく商品・サービスなどに起因して発生するCO₂につき、本オフセット・クレジットでその排出をオフセットすることで、CO₂の実質的な排出量を削減します。

② 他企業などへの譲渡（売却）

他企業などに本オフセット・クレジットを購入いただき、当該企業で排出されるCO₂のオフセットなどに活用いただきます。

《参 考》カーボン・オフセットについて

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂などの温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することなどにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。（環境省HP）

《参 考》護摩壇山「なんかいの森」について

1. 所在地 奈良県吉野郡十津川村杉清口千丈575
2. 面積 約510ha（人工林310ha、天然林200ha）
3. 現況 昭和52年からスギ・ヒノキの植林を開始し、以来、計画的な植林、施業（枝打ち・間伐など）を行っています。ブナ林などの天然林を残すなど、CO₂の吸収だけでなく、砂防や水源保全、また生物多様性の保全などに貢献することから、近年ではCSRの側面としても力を入れて事業を行っており、役員・社員が参加する間伐ボランティア活動も実施しています。



以 上